

## 公衆衛生看護管理論 I

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 宮本 郁子 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	4	区分・時間数	演習 22.5 時間
期 間	前期		
単 位 数	1 単位		

### ・学習方針（講義概要等）

地域の健康課題を解決するための地域診断について学修する。先進事例を学び、地域診断のステップをアセスメント、情報収集等、得られた情報の分析を行う。その後、地域の健康課題を解決するための方策を検討し、実施可能な事業を考える。考えられた事業の提案をするため、地域診断の経過をわかりやすくまとめ、発表を行う。また、地域診断の各段階（計画立案、実施、事業化、提案）について評価を行う。

### ・教育成果（アウトカム）

地域アセスメント<地域診断>に基づき地域の健康課題を明確化し、事業化・施策化の具体的な方法を学び、公衆衛生看護学実習地域の地域保健活動を分析することで、公衆衛生看護管理の基本技術を習得することができる。

#### 【学位授与方針と当該授業科目との関連】

ディプロマ・ポリシー：3, 4, 5, 6, 7, 8

### ・到達目標（SBO）

1. 地域保健活動の基本を学び、その目的と過程・方法を理解することができる。
2. 保健医療福祉における事業化と施策化の過程を理解することができる。
3. 地域診断過程としての情報収集、データ分析ができる。
4. 地域ケアのシステム化、ネットワークの形成、ケアコーディネーションが理解できる。
5. まちづくりの実際を学び、具体的な施策化の方法を知ることができる。
6. 実習地域の地域診断を実施し、健康課題を抽出することができる。
7. 健康課題の優先順位をつけ、具体的な施策化を行う演習ができる。
8. 根拠あるデータを基に施策化した健康事業を発表できる。
9. 実習地域で実施されている事業を再考し、健康課題を再考することができる。

・ 授業日程

(矢) トクタヴェール講義室 2、 (矢) マルチ 3-B 実習室

【演習】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	授業内容/到達目標
4/10	金	1	地域包括ケア講座	宮本 郁子 教授 岩渕 光子 特任准教授 大澤 扶佐子 講師 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教	地域保健活動の基本  ・ 地域における活動の意義と対象を理解できる ・ 地域アセスメント<地域診断>の目的・過程・方法を理解できる ・ 地域・地区の定義と活動の範囲を理解できる ・ 地域保健活動・地区活動の目的と過程を理解できる
4/10	金	2	地域包括ケア講座	宮本 郁子 教授 岩渕 光子 特任准教授 大澤 扶佐子 講師 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教	地域組織の育成・支援  ・ 地域組織の育成・支援の定義と対象を理解できる ・ 地区組織の育成・支援の目的と過程を理解できる
5/1	金	3	地域包括ケア講座	宮本 郁子 教授 岩渕 光子 特任准教授 大澤 扶佐子 講師 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教	保健医療福祉における事業化と施策化 1-データの分析方法-  ・ 施策化までの過程を理解できる ・ 地域診断のためのデータ分析による「見える化」を行うことができる (Web サイト e-Stat/RESAS 等を利用することができる) <グループワーク>
5/1	金	4	地域包括ケア講座	宮本 郁子 教授 岩渕 光子 特任准教授 大澤 扶佐子 講師 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教	保健医療福祉における事業化と施策化 2-地域ケアシステムの構築-  ・ 地域ケアのシステム化、ネットワークの形成とケアコーディネーションを理解できる

6/12	金	1	地域包括ケア講座	宮本 郁子 教授 岩渕 光子 特任准教授 大澤 扶佐子 講師 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教	保健医療福祉における事業化と施策化3 -まちづくりその1-  ・自治体における基本計画と施策化との整合性を理解できる ・施策の決定過程を理解できる
6/12	金	2	地域包括ケア講座	宮本 郁子 教授 岩渕 光子 特任准教授 大澤 扶佐子 講師 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教	保健医療福祉における事業化と施策化4 -まちづくりその2-  ・近隣市町村から話題提供を受け、具体的な施策化を理解できる
6/17	水	3	地域包括ケア講座	宮本 郁子 教授 岩渕 光子 特任准教授 大澤 扶佐子 講師 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教	保健医療福祉における事業化と施策化4 -実習前の地域診断1-  ・実習予定地域の地域診断を実施することができる ・地域のデータ分析を行うことができる ＜グループワーク＞
6/17	水	4	地域包括ケア講座	宮本 郁子 教授 岩渕 光子 特任准教授 大澤 扶佐子 講師 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教	保健医療福祉における事業化と施策化4 -実習前の地域診断2-  ・実習予定地域の地域診断を実施することができる ・地域のデータ分析を行うことができる ＜グループワーク＞
6/22	月	1	地域包括ケア講座	宮本 郁子 教授 岩渕 光子 特任准教授 大澤 扶佐子 講師 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教	保健医療福祉における事業化と施策化4 -実習前の地域診断3-  ・実習予定地域の地域診断を実施し、健康課題を抽出することができる ＜グループワーク＞

6/22	月	2	地域包括ケア講座	宮本 郁子 教授 岩渕 光子 特任准教授 大澤 扶佐子 講師 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教	保健医療福祉における事業化と施策化 4 -実習前の地域診断 4-  ・実習予定地域の地域診断を実施し、健康課題を抽出することができる ＜グループワーク＞
7/1	水	3	地域包括ケア講座	宮本 郁子 教授 岩渕 光子 特任准教授 大澤 扶佐子 講師 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教	保健医療福祉における事業化と施策化 4 -実習前の地域診断 5-  ・抽出した健康課題から優先順位を決め施策化することができる ＜グループワーク＞
7/1	水	4	地域包括ケア講座	宮本 郁子 教授 岩渕 光子 特任准教授 大澤 扶佐子 講師 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教	保健医療福祉における事業化と施策化 4 -実習前の地域診断 6-  ・抽出した健康課題から優先順位を決め施策化することができる ＜グループワーク＞
7/8	水	3	地域包括ケア講座	宮本 郁子 教授 岩渕 光子 特任准教授 大澤 扶佐子 講師 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教	保健医療福祉における事業化と施策化 4 -実習前の地域診断 7-  ・実習予定地域の健康課題と、施策化した具体的な地域保健活動（健康教育・健康相談等）を発表することができる ＜グループワーク＞
7/8	水	4	地域包括ケア講座	宮本 郁子 教授 岩渕 光子 特任准教授 大澤 扶佐子 講師 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教	保健医療福祉における事業化と施策化 4 -実習前の地域診断 8-  ・実習予定地域の健康課題と、施策化した具体的な地域保健活動（健康教育・健康相談等）を発表することができる ＜グループワーク＞

7/13	月	1	地域包括ケア講座	宮本 郁子 教授 岩渕 光子 特任准教授 大澤 扶佐子 講師 藤原 弥生 助教 松岡 真紀子 助教	地域診断から施策化まで ・実習予定地域の健康課題について、すでに実施されている事業を分析、再考し発表することができる <グループワーク>
------	---	---	----------	---	--

・教科書・参考書等

教：教科書      参：参考書      推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	地域看護アセスメントガイド 第2版	佐伯和子 編	医歯薬出版	2019
参	行政看護学	金子仁子 編	講談社	2017
参	標準保健師講座 公衆衛生看護学概論	標 美奈子 編	医学書院	2019
参	地域看護診断 第2版	金川克子 他	東京大学出版会	2011
参	地域アセスメント	川上富雄 編	学文社	2017
推	地域診断法	鵜飼 修 編	新評論	2012
推	地域データ分析の教科書	大正大学 地域構想研究所	大正大学出版会	2017

・成績評価方法

定期試験 70%、グループワーク時の提出物 30%により総合的に評価を行う。

・特記事項・その他

**【事前事後学修の具体的内容及び時間】**

教科書、既存資料、ネット等で事前学修をして講義・演習に臨むこと。また講義・演習終了後は学んだ内容をまとめ、理解不足の内容は自ら調べる。予習復習は各回 30 分以上を要する。本科目は公衆衛生看護学実習に連動している。

**【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】**

講義に加えてグループワークによる演習を行う。指定した演習課題については、原則として講義時間内に提出することを求める。なお提出された課題については、内容に応じて講義内で適時フィードバックする。

**【その他】**

Web サイト利用の演習もあるため、全員パソコンを持参のこと（指示する）

**【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】**

保健師（別表 1）：公衆衛生看護学 公衆衛生看護管理論

・ 授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
演習	プロジェクター（VPL-FW60）	1	講義用スライド
演習	書画カメラ（P-100）	1	講義用資料投影
演習	DVD（ブルーレイおよび一般DVD）再生機器	1	講義用資料投影